



2022年5月10日

各 位

会 社 名 ジオマテック株式会社
代 表 者 代表取締役社長兼CEO 松崎 建太郎
(コード番号 6907)
問合せ先 取締役執行役員兼CFO 河野 淳
(TEL 045-222-5720)

営業外収益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

2022年3月期において下記のとおり営業外収益及び特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、2021年11月8日公表の2022年3月期の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

(1) 為替差益

2022年3月期において、為替相場の変動により営業外収益に為替差益90百万円を計上いたします。

これは主に当社グループが保有する外貨建資産に対し、為替相場が前期末と比較し円安に推移したことにより発生したものであります。

(2) 投資事業組合運用益

当社が出資する投資事業組合の運用成績が、当第4四半期連結会計期間(2022年1月～3月)において好調であったことから、投資事業組合運用益26百万円を営業外収益として計上いたします。

2. 特別損失の計上について

(1) 関係会社出資金評価損(個別決算)

当社の連結子会社である吉奥馬科技(無錫)有限公司は、業績の低迷及び減損損失の計上などにより、2022年3月末の純資産額が、当社の出資金の帳簿価格と比較して著しく低下していると認められることから、個別決算において、関係会社出資金評価損828百万円を特別損失に計上することといたしました。

なお、当該関係会社出資金評価損は、個別決算のみで計上されるものであり、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

(2) 災害による損失

2022年3月16日に福島県沖で発生した地震による被害額20百万円を災害による損失として特別損失に計上いたします。内訳は、設備の復旧に要する費用14百万円、棚卸資産の破損による損失6百万円です。

3. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 6,000 | 百万円 △250 | 百万円 △210 | 百万円 △224 | 円 銭 △28.32 |
| 今回修正予想（B） | 6,259 | △120 | △1 | △80 | △10.11 |
| 増減額（B－A） | 259 | 130 | 209 | 144 | |
| 増減率（％） | 4.3 | — | — | — | |
| （ご参考）前期実績 （2021年3月期） | 6,306 | △89 | △17 | △701 | △88.63 |

修正の理由

当第4四半期連結会計期間（2022年1月～3月）については、中国子会社の不振に加え、国内においてもモビリティを除く製品全般において受注の落ち込みが懸念されたことから、通期業績予想は慎重を期し2021年11月8日発表の予想を据え置いてまいりましたが、想定以上の売上を達成できたことから売上高、営業利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

一方で、保有する成膜材料在庫について、売上構成の変化や今後の使用見込などを考慮し評価損を計上したほか、減価償却費の増加、一時的な費用の増加など複数要因が重なった結果、当第4四半期連結会計期間の営業損失は第3四半期までと比較して拡大する見込みとなりました。

以上に加えて前記営業外収益及び特別損失が発生したことから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても修正いたしました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上